

論文審査並びに最終試験の要旨及び担当者

<p>課程博士 論文博士</p>	<p>学位申請者氏名 岸本 亜野</p>	
<p>論文題目 高血圧自然発症ラットの内臓脂肪および腎臓とマウス 3T3-L1 細胞に対する ベルベリンの影響に関する基礎研究</p>		
<p>(論文審査要旨)</p> <p>SHR においてベルベリンの 8 週間経口投与により血圧の低下の影響なしに腎障害の軽減作用が認められたことを新規に示し、血圧低下以外の因子がベルベリンによる腎障害軽減に関与している可能性を示した。</p> <p>またベルベリン投与 SHR では体重増加が抑制され、後腹膜脂肪、腸間膜脂肪のより大きい減少が関与していることが新しく示唆され、また、ベルベリン投与により 3T3-L1 細胞の脂肪滴、TG が濃度依存的に減少することが確認でき、脂肪細胞特異的に発現する遺伝子の発現抑制の関与が示唆された。また、ベルベリン添加により 3T3-L1 脂肪細胞における活性酸素種の濃度依存的減少が新規に認められ、酸化ストレス改善作用は抗酸化酵素である GPx の上昇が原因であることが推察された。</p> <p>今後、酸化ストレス改善作用を有するベルベリンを用いた脂肪組織の減少と腎臓障害の関与について、さらに詳細に検討するため肥満モデル動物を用いて検討する必要がある。</p> <p>以上の結果からベルベリンにはメタボリックシンドロームにおける脂肪組織減少作用及び臓器障害抑制作用の可能性が示唆された。</p> <p>また最終審査を行い当該分野における造詣が深いことを確認した。</p> <p>...</p>		
<p>平成 28 年 3 月 7 日</p>		
<p>主査 西川 淳一</p>	<p>副査 篠塚 和正</p> <p>副査 池田 克巳</p>	<p>副査 高 明</p> <p>副査</p>